

黎明

題字は、校歌（玄閑掲額）より



令和4年
9月26日（月）

体育祭を終えて（報告と御礼）

先日（二十一日）は、秋の気配を感じるさわやかな空のもと、生徒会スローガン「輝け☆みんなが主役の西陵中」をテーマに体育祭を行いました。開閉式であいさつをした生徒会代表の言葉から、このテーマに込めた、「コロナ禍の制約に負けず一人一人が活躍し、仲間と協力しながら達成感を味わいたい」という思いが伝わってきました。

思いをうけ、生徒たちは一人一人がその子らしく躍動する姿を見せてくれました。閉会式では、そんな生徒たちの「輝き」を讃え、今後さらに、それぞれが互いのよさを認め合うことを期待して講評とし、体育祭を締め括りました。

夜空の星にも一生があり、その時々の色で輝いています。星の瞬のまばたきのような束の間の人生ですが、中学生時代にしか手に入れることのできない輝きを求め、永遠に続く点である「今」を生きることを願っています。

保護者の皆様方におかれましては、早朝より多数ご参観いただき、また、学期初め（三日）には、環境整備活動にご協力をいただき、遅ればせながら併せて感謝申し上げます。

後期生徒会役員選挙が行われました

十六日には、後期生徒会役員の立会演説会及び投票を行いました。定数六（会長①、副会長②、執行委員③）に対し六人の立候補者が出ました。政治離れなどという風潮が広がる中、十八歳

選挙がスタートしており、民主主義の原点である選挙についての正しい認識を確立することは、中学校の大きな使命だと感じています

各候補者、応援責任者合わせて十二人の堂々とした演説からは、みんなのために頑張りたいという真つ直ぐな思いが伝わってきました。全校生徒がそれを心と体でしっかりと受け止め、静謐な雰囲気の中で進められていきました。

選挙の結果、全員信任され、来月七日に学級役員・生徒会専門委員と合わせて認証式が行われる予定です。体育祭まで生徒会を牽引してくれた前期役員の皆さん、長い間ご苦勞様でした。信任された、後期役員の皆さんには、文化祭をはじめ様々な場面でこれからの活躍を期待します。

学校HP「日誌」より「ピタッときた理解から」

一年生音楽は、合唱コンクールに向けての練習に取り組んでいました。CDを聞いて体でリズムを確かめながら歌詞を覚える練習の後、教室と廊下に分かれての練習に入っていました。コロナの感染予防対策はすっかりと日常化しています。

二年生数学の一次関数は、式 $y = ax + b$ をとおる二点をもとに式を求めていました。連立方程式に x 、 y の値を代入して a 、 b を求める過程を先生や友達とのやり取りの中から、自分の感覚にピタッと当てはめて理解していきました。

三年生社会では、臓器移植に係る新聞記事やドナーカードをもとに、自己決定権について考えました。憲法十二条【幸福追求権】を根拠に新しい人権が認められてきた経緯を知り、今後の人権保障について判断できる力を高めたいと思います。

いじめの未然防止・早期発見の取組

二十二日、二学期の「いじめ調査」を実施しました。これをもとに、「学校いじめ防止対策委員会」を開催し、質問紙を精査のうえ、結果を集約・整理いたしました。

今回の調査では、新規に認知したものはありませんでしたが、すでに認知して見守りを続けている案件や記載内容の確認を要すると判断したものについては、念のため個別に生徒に話を聞き、家庭連絡をさせていただきました。

国の調査によりますと、いじめの発生時にすぐ本人から訴えがあつてわかつたのは、全体の十五%程度に止まっているようです。

いじめの未然防止・早期発見に向けては、教育相談や日頃からのきめ細かい対話・見守り活動をより一層充実させ、万が一の場合も相談しやすい体制づくりに引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

最近、SNSを介して見えにくいケースが全国的にも増えているようです。その結果、早期発見が遅れ、複雑化・深刻化し、解決を長引かせている事例もあるようです。

本市においても、「SNS等についてルールを守っているか」というアンケートに対し、中学生については、「大丈夫」という回答は約六十%に止まりました。

また、「少し不安」が約四十%、「心配なことがある」も約三%となっており、依存や誘惑から抜け出せなかつたり、断り切れず悩んだりしている子どもたちの姿が伺えます。

お子様のことでご心配なことがありましたら、気軽ににご相談いただけますようお願いいたします。

